

環境会計詳細データ



キッコーマングループは、環境保全活動に関わる投資・費用とその効果を、環境省の「環境会計ガイドライン」にもとづいて集計・把握し、2000年度分から公表しています(キッコーマンは1999年度分から公表)。

以下のデータは、2007年度における環境会計の詳細な集計結果で、グループ各社ごとに評価と分析を記載しています。

集計対象期間・範囲

2007年4月～2008年3月……………キッコーマン※1、日本デルモンテ※2、マンズワイン、紀文フードケミファ、KIKKOMAN FOODS, INC. (KFI)、KIKKOMAN (S) PET. LTD. (KSP)、KIKKOMAN FOODS EUROPE B. V. (KFE)

2007年1月～2007年12月……………利根コカ・コーラボトリング、イトシア

※1 北海道キッコーマン、流山キッコーマン、平成食品工業、江戸川食品を含みます。

※2 東北デルモンテを含みます。

集計対象全社のサマリー

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	キッコーマン		日本デルモンテ		マンズワイン		利根コカ・コーラボトリング		イトシア	
	投資	費用	投資	費用	投資	費用	投資	費用	投資	費用
生産・サービス	258	1,237	47	245	12	29	899	707		59
公害防止	80	372	18	155	12	14	130	72		26
地球環境保全	116	62	29	9		1	765	568		
資源循環	62	803		81		14	4	67		33
上流または下流コスト		185					9	273		1
流通		185					9	273		1
管理活動コスト		207		21		9	2	43		10
環境保全		207		21		9	2	43		10
研究開発コスト		130								
研究・開発		130								
社会活動コスト		16						14		
自然保護、団体・地域支援		16						14		
環境損傷コスト										
修復コスト、和解金、引当金										
合計	258	1,775	47	266	12	38	910	1,037	0	70

事業活動に応じた分類	紀文フードケミファ		KFI		KSP		KFE		合計	
	投資	費用	投資	費用	投資	費用	投資	費用	投資	費用
生産・サービス	99	276	313	156	11	11		24	1,639	2,744
公害防止	33	72	272	131	9	7		19	554	868
地球環境保全	39	4	41	9	2	3			992	656
資源循環	27	200		16		1		5	93	1220
上流または下流コスト		1		1					9	461
流通		1		1					9	461
管理活動コスト	26	152		46		2		4	28	494
環境保全	26	152		46		2		4	28	494
研究開発コスト									0	130
研究・開発									0	130
社会活動コスト						1		7	0	38
自然保護、団体・地域支援						1		7	0	38
環境損傷コスト									0	0
修復コスト、和解金、引当金									0	0
合計	125	429	313	203	11	14	0	35	1,676	3,867

環境保全効果

(百万円、単位未満四捨五入)

内訳	キッコーマン	日本デルモンテ	マンズワイン	利根コカ・コーラボトリング	イトシア
エネルギー低減効果	-75	12	-4	2	9
エネルギー(化石燃料)抑制効果	97	—	—	—	—
廃棄物・副産物低減効果	-78	-21	2	-4	-22
廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果	1,040	203	26	183	193
合計	984	194	24	181	180

内訳	紀文フードケミファ	KFI	KSP	KFE	合計
エネルギー低減効果	1	-51	-6	-11	-123
エネルギー(化石燃料)抑制効果	—	—	—	—	97
廃棄物・副産物低減効果	235	-27	0	0	85
廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果	626	312	45	38	2,666
合計	862	234	39	27	2,725

環境保全効果の金額換算方法について

環境保全活動に関わる投下資本と支出費用の効果を金額で算出するにあたっては、使用エネルギーと排出廃棄物・副産物の環境負荷量のCO₂換算値を算出し、次いでそれをA重油量に換算し、さらにA重油量を金額に換算しました。

$$\text{環境負荷量のCO}_2\text{換算値} \div \text{A重油の排出係数} \times \text{A重油の平均購入単価}$$

- ①使用エネルギーと排出廃棄物・副産物の環境負荷量を、環境省のエコアクション21「環境活動評価プログラム(2004年版)」に従ってCO₂に換算。
- ②換算したCO₂を、重油の排出係数(2.710t-CO₂/kℓ)を用いて、A重油量に換算。
- ③換算したA重油量に、重油の2007年度の平均購入単価を乗じて金額に換算。

環境保全効果に関する用語について

● エネルギー低減効果

使用した重油、電力、ガス、ガソリンなどの総エネルギー量を金額換算し、前年度実績からの増減を効果としています。

● エネルギー(化石燃料)抑制効果

A重油(化石燃料)に代えて燃焼させたしょうゆ油(植物性燃料)量から効果を算定しています。

当社グループの主力商品であるしょうゆの主原料は、植物(大豆、小麦)で、製造工程でしょうゆ粕としょうゆ油が生じます。

当社グループは、1987年からこれらを熱利用してきました(2007年度からはしょうゆ油のみ利用)。大豆、小麦を含め植物は、炭酸同化作用により大気中のCO₂を吸収しているため、植物や植物由来の生成物を燃焼しても、大気中のCO₂の増加には影響しないとされています。

したがって、植物性燃料の使用を、エネルギー(化石燃料)抑制効果としています。

● 廃棄物・副産物低減効果

廃棄物・副産物の環境負荷量のCO₂換算値を金額換算し、前年度実績からの増減を効果としています。

当社グループは、廃棄物・副産物のなかに、有価物、再生利用物を含めています。

ただし、しょうゆ油のエネルギー利用分は除いています。

なお、燃焼によりCO₂を発生しない廃棄物(缶、鉄くず、ガラスくず、陶磁器くずなど)は、有価物を含め不燃物とし、ここには加えていません。

● 廃棄物・副産物抑制(再生利用)効果

可燃廃棄物を燃焼処理せずに再生利用すると、燃焼処理相当分のCO₂量を抑制したとみなすことができます。

したがって、この再生利用量を算定し、廃棄物抑制(再生利用)効果としています。



会社概要

本社	千葉県野田市野田250
工場	野田工場(千葉県)、高砂工場(兵庫県)
設立	1917年
資本金	115億9千9百万円
主要製造品目	しょうゆ、しょうゆ関連調味料
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/

2007年度の評価と分析

● 環境保全投資

2007年度の環境保全投資額は258百万円で、2006年度に比べ54百万円減少しました。

この主な理由は、2007年度の小型ボイラー、排水処理設備、しょうゆ粕設備への投資額が、2006年度に実施したしょうゆ粕乾燥設備への投資額を下回ったためです。

この主な理由は、産業廃棄物処理に関わる資源循環費用が増加したためです。

● 環境保全効果

2007年度の環境保全効果額は984百万円で、2006年度に比べ72百万円減少しました。

この主な理由は、エネルギー使用量が増加したためです。

● 環境保全費用

2007年度の環境保全費用は1,775百万円で、2006年度に比べ86百万円増加しました。

環境会計

この環境会計には、分社化した北海道キッコーマン(北海道)、流山キッコーマン(千葉県)、平成食品工業(千葉県)、江戸川食品(千葉県)の実績数値を含んでいます。

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	258	1,237
公害防止	80	372
地球環境保全	116	62
資源循環	62	803
上流または下流コスト		185
流通		185
管理活動コスト		207
環境保全		207
研究開発コスト		130
研究・開発		130
社会活動コスト		16
自然保護、団体・地域支援		16
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	258	1,775

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	10,207 kℓ	27,661	9,639 kℓ	26,122	1,539	105.9
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	6 kℓ	15	6 kℓ	15	0	99.7
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	48,578 千kwh	18,362	46,006 千kwh	17,390	972	105.6
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	4,123 千m ³	8,691	4,426 千m ³	9,330	-639	93.2
購入蒸気	※1	44,636 t	7,424	35,640 t	6,046	1,378	122.8
合計			62,154		58,903	3,251	105.5

● エネルギー(化石燃料)抑制効果(熱利用) CO₂換算

	排出係数※2 (CO ₂ t/t)	2007年度	
		使用量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)
しょうゆ油 (燃料)	2.700	1,558	4,207

しょうゆ粕は2007年度から熱利用をしていません。

● 廃棄物・副産物再生利用効果(有効利用分除く) CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	270	702	236	614	88	114.3
段ボール、木くず	1.650	242	399	197	325	74	122.9
廃油	2.900	510	1,479	497	1,441	38	102.6
污泥	1.100	5,580	6,138	3,631	3,994	2,144	153.7
植物性残さ	2.442	1,237	3,021	926	2,261	760	133.6
一般雑芥ほか	2.442	728	1,778	621	1,516	262	117.3
不燃物	0.000	185	—	183	—	—	101.1
合計		8,752	13,517	6,291	10,152	3,365	133.1

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数※2 (CO ₂ t/t)	2007年度					
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)	
廃プラスチック	2.600	270	702	270	100.0	702	
段ボール、木くず	1.650	242	399	242	100.0	399	
廃油	2.900	510	1,479	510	100.0	1,479	
しょうゆ粕(飼料)	1.180	23,660	27,919	23,660	100.0	27,919	
しょうゆ油(魚餌その他)	2.700	1,060	2,862	1,060	100.0	2,862	
みりん粕(飼料)	1.080	656	708	656	100.0	708	
污泥	1.100	5,580	6,138	5,580	100.0	6,138	
植物性残さ	2.442	1,237	3,021	1,237	100.0	3,021	
一般雑芥ほか	2.442	728	1,778	728	100.0	1,778	
不燃物	0.000	185	—	185	100.0	—	
合計		34,128	45,006	34,128	100.0	45,006	
熱利用分を加えると							
しょうゆ油(燃料)		1,558		1,558	100.0		
総計		35,686		35,686	100.0		

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量(製造部門)

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	3,277 千kℓ	3,307 千kℓ	-30 千kℓ	99.1
窒素酸化物 (NO _x) ※3	34,103 kg	32,877 kg	1,226 kg	103.7
硫黄酸化物 (SO _x) ※3	12,198 kg	11,519 kg	679 kg	105.9

※1 近畿経済産業局報告資料に準じてCO₂換算。2007年度=0.166323、2006年度=0.169641

※2 しょうゆ粕、しょうゆ油、みりん粕の排出係数は当社グループの測定値

※3 しょうゆ油燃焼除く



会社概要

本社	東京都中央区日本橋小網町4-13
工場	長野工場(長野県)、群馬工場(群馬県)、福島工場(福島県)、木島平分工場(長野県)
設立	1961年
資本金	9億円
主要製造品目	トマトケチャップ、トマトジュース、野菜ジュース、キッコーマンソース
ウェブサイト	http://www.delmonte.co.jp/

2007年度の評価と分析

- 環境保全投資**
 2007年度の環境保全投資額は47百万円で、2006年度に比べ1百万円増加しました。
 投資の主な内容は、長野工場へのガスボイラー導入など新たな省エネルギー設備の導入です。
- 環境保全費用**
 2007年度の環境保全費用は266百万円で、2006年度に比べ21百万円減少しました。
- この主な理由は、福島工場などの排水処理や大気汚染防止の公害防止費用が減少したためです。
- 環境保全効果**
 2007年度の環境保全効果額は194百万円で、2006年度に比べ36百万円増加しました。
 この主な理由は、廃棄物・副産物の再生利用が増加したためです。

環境会計

この環境会計には、分社化した東北デルモンテ(岩手県)の実績数値を含んでいます。

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	47	245
公害防止	18	155
地球環境保全	29	9
資源循環		81
上流または下流コスト		
流通		
管理活動コスト		21
環境保全		21
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	47	266

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	9,325 kℓ	25,271	10,595 kℓ	28,712	-3,441	88.0
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	14 kℓ	37	19 kℓ	50	-13	73.5
灯油	2.492 CO ₂ t/kℓ	60 kℓ	150	54 kℓ	135	15	110.8
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	20,145 千kwh	7,615	19,472 千kwh	7,360	255	103.5
LPG	3.002 CO ₂ t/t	1 t	3	1 t	3	0	100.1
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	1,261 千m ³	2,675	0 千m ³	0	2,675	
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	62 kℓ	144	58 kℓ	135	9	106.6
合計			35,894		36,395	-501	98.6

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	281	731	298	775	-44	94.3
段ボール、木くず	1.650	439	724	521	860	-136	84.2
廃油	2.900	12	35	4	12	23	290.0
リンゴ搾汁粕	1.470	387	569	735	1,080	-511	52.7
トマト搾汁粕	2.149	188	404	203	436	-32	92.7
緑茶粕	1.789	581	1,039	659	1,179	-140	88.2
污泥	1.100	1,806	1,987	1,422	1,564	423	127.0
植物性残さ	2.442	1,336	3,263	808	1,973	1,290	165.4
一般雑芥ほか	2.442	33	81	17	42	39	191.9
不燃物	0.000	1,022	—	1,308	—	—	78.1
合計		6,085	8,832	5,975	7,921	911	111.5

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	281	731	280	99.6	728
段ボール、木くず	1.650	439	724	438	99.8	723
廃油	2.900	12	35	10	83.3	29
リンゴ搾汁粕(飼料)	1.470	387	569	387	100.0	569
トマト搾汁粕(飼料)	2.149	188	404	188	100.0	404
緑茶粕(堆肥)	1.789	581	1,039	581	100.0	1,039
污泥	1.100	1,806	1,987	1,806	100.0	1,987
植物性残さ	2.442	1,336	3,263	1,332	99.7	3,253
一般雑芥ほか	2.442	33	81	18	54.5	44
不燃物	0.000	1,022	—	1,022	100.0	—
合計		6,085	8,832	6,062	99.6	8,775

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	3,016 千kℓ	2,923 千kℓ	93 千kℓ	103.2
窒素酸化物 (NO _x)	21,707 kg	21,831 kg	-124 kg	99.4
硫黄酸化物 (SO _x)	11,154 kg	12,674 kg	-1,520 kg	88.0

※ リンゴ搾汁粕、トマト搾汁粕、緑茶粕の排出係数は当社グループの測定値



会社概要

本社	東京都港区西新橋2-1-1
工場	勝沼ワイナリー(山梨県)、小諸ワイナリー(長野県)
設立	1962年
資本金	9億円
主要製造品目	ワイン、ブランデー
ウェブサイト	http://www.kikkoman.co.jp/manns/

2007年度の評価と分析

● 環境保全投資

2007年度の環境保全投資額は12百万円で、2006年度に比べ6百万円増加しました。

投資の主な内容は、小諸工場への小型貫流ボイラー2台の導入などです。

● 環境保全費用

2007年度の環境保全費用は38百万円で、2006年度に比べ3百万円減少しました。

この主な理由は、排水処理設備の維持管理費用が減少したためです。

● 環境保全効果

2007年度の環境保全効果額は24百万円で、2006年度に比べ8百万円減少しました。

この主な理由は、エネルギー使用量が増加したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	12	29
公害防止	12	14
地球環境保全		1
資源循環		14
上流または下流コスト		
流通		
管理活動コスト		9
環境保全		9
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	12	38

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	288 kℓ	780	245 kℓ	664	116	117.5
電力	0.378 CO ₂ t/kkwh	3,191 kkwh	1,206	3,007 kkwh	1,137	69	106.1
合計			1,987		1,801	186	110.3

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	20	52	19	49	3	106.1
段ボール、木くず	1.650	36	59	40	66	-7	90.0
汚泥	1.100	279	307	284	312	-5	98.4
植物性残さ	2.442	314	767	338	825	-58	92.9
一般雑芥ほか	2.442	3	7	3	7	0	104.7
不燃物	0.000	178	—	152	—	—	117.1
合計		830	1,192	836	1,261	-67	94.6

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	20	52	2	10.0	5
段ボール、木くず	1.650	36	59	36	100.0	59
汚泥	1.100	279	307	297	100.0	307
植物性残さ	2.442	314	767	309	98.4	755
一般雑芥ほか	2.442	3	7	0	0.0	0
不燃物	0.000	178	—	176	98.9	—
合計		830	1,192	802	96.6	1,126

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量 (製造部門)

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	400 千kℓ	320 千kℓ	80 千kℓ	125.0
窒素酸化物 (NO _x)	1,355 kg	1,238 kg	117 kg	109.5
硫黄酸化物 (SO _x)	344 kg	293 kg	51 kg	117.4



会社概要

本社	千葉県野田市中根310
設立	1962年
資本金	16億円
主要取扱品目	清涼飲料水、スポーツ飲料、コーヒー飲料
ウェブサイト	http://www.tone.ccbc.co.jp/

2007年度の評価と分析

- 環境保全投資**

2007年度の環境保全投資額は910百万円で、2006年度に比べ153百万円増加しました。

投資の主な内容は、2006年度と同様、省エネルギー・ノンフロン冷媒の環境配慮型自動販売機の設置などです。

この主な理由は、市場での空容器などの回収・分別費用が減少したためです。
- 環境保全効果**

2007年度の環境保全効果額は181百万円で、2006年度に比べ59百万円増加しました。

この主な理由は、廃棄物・副産物の再生利用が増加したためです。
- 環境保全費用**

2007年度の環境保全費用は1,037百万円で、2006年度に比べ95百万円減少しました。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	899	707
公害防止	130	72
地球環境保全	765	568
資源循環	4	67
上流または下流コスト	9	273
流通	9	273
管理活動コスト	2	43
環境保全	2	43
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		14
自然保護、団体・地域支援		14
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	910	1,037

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	2,046 kℓ	5,369	2,061 kℓ	5,408	-39	99.3
電力	0.378 CO ₂ t/kwh	7,679 kwh	2,903	7,771 kwh	2,937	-34	98.8
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	999 kℓ	2,320	999 kℓ	2,320	0	100.0
合計			10,591		10,665	-74	99.3

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	402	1,045	620	1,612	-567	64.8
段ボール、木くず	1.650	3,539	5,839	3,543	5,846	-7	99.9
植物性残さ	2.442	734	1,792	328	801	991	223.8
一般雑芥ほか	2.442	1,263	3,084	1,356	3,311	-227	93.2
不燃物	0.000	14,005	—	13,578	—	—	103.1
合計		19,943	11,761	19,425	11,570	191	101.7

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	402	1,045	115	28.6	299
段ボール、木くず	1.650	3,539	5,839	3,539	100.0	5,839
植物性残さ	2.442	734	1,792	734	100.0	1,792
一般雑芥ほか	2.442	1,263	3,084	0	0.0	0
不燃物	0.000	14,005	—	11,275	80.5	—
合計		19,943	11,761	15,663	78.5	7,931

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	27 千kℓ	29 千kℓ	-2 千kℓ	93.1
窒素酸化物 (NO _x)	13,643 kg	13,696 kg	-53 kg	99.6
硫黄酸化物 (SO _x)	1,025 kg	1,032 kg	-7 kg	99.3



会社概要

本社 茨城県猿島郡五霞町川妻1122
 工場 同上
 設立 1973年
 資本金 5千万円
 主要製造品目 清涼飲料水、コーヒー飲料、シャーベット
 ウェブサイト <http://www.eatsia.co.jp/>

2007年度の評価と分析

● 環境保全投資

2007年度も環境保全に関する投資はありませんでした。

● 環境保全費用

2007年度の環境保全費用は70百万円で、2006年度に比べ2百万円増加しました。

費用の主な内容は、排水処理設備設置のための公害防止費用および廃棄物処理のための資源循環費用です。

● 環境保全効果

2007年度の環境保全効果額は180百万円で、2006年度に比べ17百万円減少しました。

この主な理由は、植物性残さの排出量が増加したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス		59
公害防止		26
地球環境保全		
資源循環		33
上流または下流コスト		1
流通		1
管理活動コスト		10
環境保全		10
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	0	70

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	3,119 kℓ	8,452	3,248 kℓ	8,802	-350	96.0
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	44 kℓ	155	51 kℓ	134	-19	86.2
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	14,236 千kwh	5,381	14,071 千kwh	5,319	62	101.2
LPG	3.002 CO ₂ t/t	32 t	96	38 t	114	-18	84.3
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	137 kℓ	318	161 kℓ	374	-56	85.1
合計			14,363		14,743	-380	97.4

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	125	325	130	338	-13	96.2
段ボール、木くず	1.650	110	182	107	177	5	102.5
汚泥	1.100	212	233	224	246	-13	94.8
植物性残さ	2.442	3,143	7,675	2,739	6,689	986	114.7
一般雑芥ほか	2.442	23	56	27	66	-10	85.1
不燃物	0.000	19	—	45	—	—	42.2
合計		3,632	8,471	3,272	7,516	955	112.7

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	125	325	107	85.6	278
段ボール、木くず	1.650	110	182	110	100.0	182
汚泥	1.100	212	233	212	100.0	233
植物性残さ	2.442	3,143	7,675	3,143	100.0	7,675
一般雑芥ほか	2.442	23	56	0	0.0	0
不燃物	0.000	19	—	19	—	—
合計		3,632	8,471	3,591	98.9	8,368

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	649 千kℓ	647 千kℓ	2 千kℓ	100.3
窒素酸化物 (NO _x)	9,998 kg	10,359 kg	-361 kg	96.5
硫黄酸化物 (SO _x)	3,749 kg	3,907 kg	-158 kg	96.0



会社概要

本社	東京都中央区入船2-1-1
工場	鴨川工場(千葉県)、岐阜工場(岐阜県)、埼玉工場(埼玉県)、新埼玉工場(埼玉県)
設立	1948年
資本金	35億8千5百万円
主要製造品目	ヒアルロン酸、ロイド、アルギン、豆乳飲料、調味料
ウェブサイト	http://www.kibunfc.co.jp/

2007年度の評価と分析

- 環境保全投資**
 2007年度の環境保全投資額は125百万円で、2006年度に比べ709百万円減少しました。
 この主な理由は、2006年度に行った資源循環設備や公害防止設備への投資がほぼ完了したためです。
 - 環境保全効果**
 2007年度の環境保全効果額は862百万円で、2006年度に比べ147百万円減少しました。
 この主な理由は、廃棄物・副産物の再生利用量が減少したためです。
 - 環境保全費用**
 2007年度の環境保全費用は429百万円で、2006年度に比べ100百万円減少しました。
- この主な理由は、排水処理や大気汚染防止に関わる公害防止費用が減少したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	99	276
公害防止	33	72
地球環境保全	39	4
資源循環	27	200
上流または下流コスト		1
流通		1
管理活動コスト	26	152
環境保全	26	152
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	125	429

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
A重油	2.710 CO ₂ t/kℓ	2,546 kℓ	6,900	2,661 kℓ	7,211	-311	95.7
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	28,260 千kwh	10,682	28,138 千kwh	10,636	46	100.4
LPG	3.002 CO ₂ t/t	1 t	3	2 t	6	-3	50.0
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	6,197 千m ³	13,063	6,095 千m ³	12,848	215	101.7
合計			30,648		30,702	-54	99.8

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	184	478	238	619	-141	77.3
段ボール、木くず	1.650	107	177	202	333	-156	53.0
廃油	2.900	5	15	2	6	9	241.7
汚泥	1.100	2,765	3,042	2,972	3,269	-228	93.0
植物性残さ	2.442	10,198	24,904	13,292	32,459	-7,555	76.7
一般雑芥ほか	2.442	326	796	1,181	2,884	-2,088	27.6
不燃物	0.000	55	—	41	—	—	134.1
合計		13,640	29,411	17,928	39,570	-10,159	74.3

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	184	478	134	72.8	348
段ボール、木くず	1.650	107	177	107	100.0	177
廃油	2.900	5	15	5	100.0	15
汚泥	1.100	2,765	3,042	979	35.4	1,077
植物性残さ	2.442	10,198	24,904	10,198	100.0	24,904
一般雑芥ほか	2.442	326	796	221	67.8	540
不燃物	0.000	55	—	52	94.5	—
合計		13,640	29,411	11,696	85.7	27,060

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量 (製造部門)

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	1,359 千kℓ	1,283 千kℓ	76 千kℓ	105.9
窒素酸化物 (NO _x)	19,371 kg	19,385 kg	-14 kg	99.9
硫黄酸化物 (SO _x)	3,042 kg	3,180 kg	-138 kg	95.7



会社概要

本社	N1365 Six Corners Road, Walworth, Wisconsin 53184, U.S.A. (米国)
工場	● ウィスコンシン工場 (米国ウィスコンシン州)
	設立 1972年
	主要製造品目 しょうゆ、しょうゆ関連調味料
	● カリフォルニア工場 (米国カリフォルニア州)
	設立 1998年
	主要製造品目 しょうゆ
資本金	6,000千US\$

2007年度の評価と分析

- **環境保全投資**
2007年度の環境保全投資額は313百万円で、2006年度に比べ202百万円増加しました。
投資の主な内容は、排水処理設備の拡張・増設です。
 - **環境保全効果**
2007年度の環境保全効果額は234百万円で、2006年度に比べ67百万円増加しました。
この主な理由は、廃棄物・副産物の再生利用量が増加したためです。
 - **環境保全費用**
2007年度の環境保全費用は203百万円で、2006年度に比べ29百万円増加しました。
- この主な理由は、社内緑化など管理活動における環境保全コストに関わる費用が増加したためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	313	156
公害防止	272	131
地球環境保全	41	9
資源循環		16
上流または下流コスト		1
流通		1
管理活動コスト		46
環境保全		46
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		
自然保護、団体・地域支援		
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	313	203

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	28,339 千kwh	10,712	28,044 千kwh	10,601	111	101.0
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	7,450 千m ³	15,705	6,692 千m ³	14,107	1,598	111.3
ガソリン	2.322 CO ₂ t/kℓ	8 kℓ	19	8 kℓ	19	0	97.8
合計			26,435		24,726	1,709	106.9

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数 (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	70	182	50	130	52	140.0
段ボール、木くず	1.650	179	295	203	335	-40	88.2
廃油	2.900	6	17	1	3	14	—
汚泥	1.100	4,340	4,774	4,084	4,492	282	106.3
植物性残さ	2.442	410	1,001	397	969	32	103.3
一般雑芥ほか	2.442	327	799	199	486	313	164.3
不燃物	0.000	366	—	148	—	—	247.3
合計		5,698	7,069	5,082	6,416	654	110.2

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	70	182	43	61.4	112
段ボール、木くず	1.650	179	295	178	99.4	294
廃油	2.900	6	17	6	100.0	17
しょうゆ粕 (飼料)	1.180	9,446	11,146	9,446	100.0	11,146
しょうゆ油 (その他利用)	2.700	169	456	169	100.0	456
汚泥	1.100	4,340	4,774	427	9.8	470
植物性残さ	2.442	410	1,001	220	53.7	537
一般雑芥ほか	2.442	327	799	147	45.0	359
不燃物	0.000	366	—	366	100.0	—
合計		15,313	18,671	11,002	71.8	13,391

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	639 千kℓ	608 千kℓ	31 千kℓ	105.1
窒素酸化物 (NO _x)	17,202 kg	16,214 kg	988 kg	106.1
硫黄酸化物 (SO _x)	0 kg	0 kg	0 kg	—

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数は当社グループの測定値



会社概要

本社	7 Senoko Crescent, Singapore 758263 (シンガポール)
工場	同上
設立	1983年
資本金	7,500千\$
主要製造品目	しょうゆ、しょうゆ関連調味料

2007年度の評価と分析

- 環境保全投資**
 2007年度の環境保全投資額は11百万円で、2006年度に比べ2百万円減少しました。
 この主な理由は、2006年度に行った排水負荷低減対策への投資が減少したためです。
 - 環境保全費用**
 2007年度の環境保全費用は14百万円で、2006年度に比べ1百万円減少しました。
 - 環境保全効果**
 2007年度の環境保全効果額は39百万円で、2006年度に比べ2百万円増加しました。
 この主な理由は、廃棄物・副産物の再生利用量が増加したためです。
- 費用の主な内容は、排水処理など公害防止のための費用などです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス	11	11
公害防止	9	7
地球環境保全	2	3
資源循環		1
上流または下流コスト		
流通		
管理活動コスト		2
環境保全		2
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		1
自然保護、団体・地域支援		1
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計	11	14

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
軽油	2.624 CO ₂ t/kℓ	542 kℓ	1,422	461 kℓ	1,210	212	117.5
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	2,851 千kwh	1,078	2,750 千kwh	1,040	38	103.6
合計			2,500		2,249	251	111.2

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
段ボール、木くず	1.650	40	66	45	74	-8	89.2
廃油	2.900	8	23	0	1	22	—
一般雑芥ほか	2.442	274	669	271	662	7	101.1
合計		322	758	316	737	21	102.9

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
段ボール、木くず	1.650	40	66	40	100.0	66
廃油	2.900	8	23	0	0.0	0
しょうゆ粕 (飼料)	1.180	1,030	1,215	1,030	100.0	1,215
しょうゆ油 (その他利用)	2.700	0	0	0	—	0
一般雑芥ほか	2.442	274	669	274	100.0	669
合計		1,352	1,974	1,344	99.4	1,951

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	67 千kℓ	66 千kℓ	1 千kℓ	101.5
窒素酸化物 (NO _x)	1,684 kg	1,527 kg	157 kg	110.3
硫黄酸化物 (SO _x)	272 kg	231 kg	41 kg	117.7

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数は当社グループの測定値



会社概要

本社	De Vosholen 100, 9611 TG Sappemeer, The Netherlands (オランダ)
工場	同上
設立	1996年
資本金	12,705千EUR
主要製造品目	しょうゆ、しょうゆ関連調味料

2007年度の評価と分析

● 環境保全投資

2007年度も環境保全に関する投資はありませんでした。

● 環境保全費用

2007年度の環境保全費用は35百万円で、2006年度に比べ3百万円増加しました。

費用の主な内容は、排水処理などの公害防止関連のための費用などです。

● 環境保全効果

2007年度の環境保全効果額は27百万円で、2006年度に比べ1百万円増加しました。

この主な理由は、生産量の増加にともないエネルギー使用量が増加した一方で、廃棄物・副産物の再生利用量がそれを上回ったためです。

環境会計

環境保全投資・費用

(百万円、単位未満四捨五入)

事業活動に応じた分類	投資	費用
生産・サービス		24
公害防止		19
地球環境保全		
資源循環		5
上流または下流コスト		
流通		
管理活動コスト		4
環境保全		4
研究開発コスト		
研究・開発		
社会活動コスト		7
自然保護、団体・地域支援		7
環境損傷コスト		
修復コスト、和解金、引当金		
合計		35

環境保全効果

● エネルギー低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		使用量	CO ₂ 換算 (t/y)	使用量	CO ₂ 換算 (t/y)		
電力	0.378 CO ₂ t/千kwh	2,693 千kwh	1,018	2,293 千kwh	867	151	117.4
ガス	2.108 CO ₂ t/千m ³	996 千m ³	2,100	839 千m ³	1,769	331	118.7
合計			3,118		2,636	482	118.3

● 廃棄物・副産物低減効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度		2006年度		増減 (CO ₂ t/y)	前年度比 (%)
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)		
廃プラスチック	2.600	5	13	5	13	0	100.0
段ボール、木くず	1.650	36	59	28	46	13	129.1
廃油	2.900	0	0	2	6	-6	0.0
一般雑芥ほか	2.442	34	83	31	76	7	109.2
不燃物	0.000	8	—	8	—	—	100.0
合計		83	155	74	141	14	110.2

● 廃棄物・副産物再生利用効果 CO₂換算

内訳	排出係数※ (CO ₂ t/t)	2007年度				
		排出量 (t/y)	CO ₂ 換算 (t/y)	再生利用 (t/y)	再生利用率 (%)	再生利用CO ₂ 換算 (t/y)
廃プラスチック	2.600	5	13	5	100.0	13
段ボール、木くず	1.650	36	59	36	100.0	59
廃油	2.900	0	0	0	—	0
しょうゆ粕 (飼料)	1.180	1,268	1,496	1,268	100.0	1,496
しょうゆ油 (その他利用)	2.700	3	8	3	—	8
一般雑芥ほか	2.442	34	83	34	100.0	83
不燃物	0.000	8	—	8	100.0	—
合計		1,354	1,660	1,354	100.0	1,660

その他の環境負荷量

● 用水使用量、窒素酸化物、硫黄酸化物排出量

	2007年度	2006年度	増減	前年度比 (%)
用水	52 千kl	41 千kl	11 千kl	126.8
窒素酸化物 (NO _x)	1,972 kg	1,668 kg	304 kg	118.2
硫黄酸化物 (SO _x)	0 kg	0 kg	0 kg	—

※ しょうゆ粕、しょうゆ油の排出係数は当社グループの測定値